

名都借の木



2015年1月15日発行
 発行者:流山市立木の図書館
 (指定管理者:株式会社すばる)
 住所:流山市名都借313-1
 Tel: 04-7145-8000

「未」とは？

2015年 乙未



元は木の枝葉が重なっている様子を著した象形文字、とのこと。盛んに
 生い茂り、滋味が増すため、「あぢつく(味)」と読む、とあります。
 (諸橋轍次著「大漢和辞典、巻六」(大修館書店、修訂第二版、1989年刊))

ひつじ年生まれの作家



日本の作家



ひつじ年生まれの
 小説家・評論家には、
 個性的な顔ぶれが
 そろっています。

角田光代著「紙の月」
 (角川春樹事務所、
 2012年刊)



作家名	誕生年
加藤周一	1919年
水上勉	1919年
干刈あがた	1943年
井出孫六	1931年
曾野綾子	1931年
角田光代	1967年



ひつじ年生まれの
 詩人・俳人には、谷川
 俊太郎や大岡信がい
 います。今も精力的に著
 作を出版しています。

谷川俊太郎作、
 井上洋介絵「こわくない」
 (絵本塾出版、2014年刊)

作家名	誕生年
中原中也	1907年
谷川俊太郎	1931年
大岡信	1931年

作家名	誕生年
石井桃子	1907年
山中恒	1931年
後藤竜二	1943年
安房直子	1943年

ひつじ年生まれの児童文学者
 には、石井桃子や後藤竜二などが
 います。

海外の児童文学者ですが、
 「ながくつしたのピッピ」などで
 有名なリンドグレーンもひつじ
 年生まれです。

海外の作家



作家名	誕生年
アストリッド・リンドグレーン	1907年
J・D・サリンジャー	1919年
コリン・ウィルソン	1931年

海外の作家では、サリンジャーが
 ひつじ年生まれです。

J. D. サリンジャー著、野崎孝訳
 「ライ麦畑でつかまえて」(白水社、1984年刊)

色々な200周年

いまから200年前の1815年、
 いわゆる「ナポレオンの百日天下」が
 起こります。その頃のヨーロッパは、
 ナポレオンの失脚に伴う政変で激しく
 揺れ動いていました。そのなかで
 生きていく庶民の姿を描いた作品を
 2つご紹介します。

「忘れないでください。決して
 忘れないでくださいよ。あなたが
 正直な人間になるために、この
 銀器を使うとわたしに約束した
 ことを。」(ユゴー著、佐藤朝訳
 「レ・ミゼラブル1」(新潮文庫、2012年刊))

昔は「ああ無情」のタイトルで知られて
 いた「レ・ミゼラブル」。この物語で、ジャン・
 ヴァルジャンがミリエル司教に出会う
 のが1815年10月です。



「では僕を閉じこめるために、あの
 イフの城へつれて行くのか？」

(アレクサンドル・デュマ著、山内義雄訳)

「モンテ・クリスト伯1」(岩波書店、1956年刊))

昔は「狂竜王」のタイトルで知られていた
 「モンテ・クリスト伯」。この物語では、
 エドモン・ダンテスが船長から預かった
 手紙をナポレオン一派の密書だと知らずに
 届けてしまい、帰国したのが1815年2月
 です。



日本が世界に誇るもの！



増田 勝彦/監修
『和紙と暮らす よき紙、うつくしき里、
古き手わざ』（平凡社）
～ 無形文化遺産 和紙 ～

昨年の“和食”に続き、“和紙”がユネスコの無形文化遺産に登録されました。

100年程の耐久性しかない洋紙に対して、和紙は1000年以上と言われます。そして、その用途は多種多様です。試しに、むかしの日本家屋を思い出してみてください。和紙が使われているものが多いことに気づきます。襖・障子・行灯・提灯・掛け軸・しめ飾り・・・

機能性としての価値もあり、美術品としての価値もあるのが和紙です。その和紙をつくりだす匠の技が、写真と文章で紹介されています。

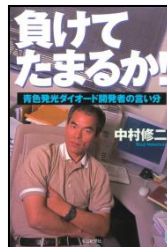


他にこんな本もあります！



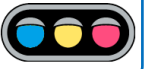
約1年半前、“おもてなし”という言葉が世界中に発信されましたが、“おもてなし”は観光に限ったことではありません。政治の世界、それも外交戦略が絡んだ“おもてなし”という切り口にとっても興味がそそられます。

西川 恵/著
『歴代首相のおもてなし』（宝島社）



青色 LED の実用化に貢献した成果などにより、2014 年のノーベル物理学賞を受賞した中村修二氏。その道のりは順風満帆ではなく、特許裁判の原告になったこともあります。この本は、彼の研究人生を綴った作品です。

中村 修二/著
『負けてたまるか！』（朝日新聞社）



知って得する！

図書館活用術 vol.3



●「読み終わった本を返します」

返したい資料を図書館カウンターに持ってきてください。返す手続きについては、利用カードは不要です。“貸出票”は大事なお客様の控えですので、図書館に出す必要はありません。ご返却の際はしおりに使ったものなど、本の中にお忘れ物がないようにご注意ください。

●「返す時は、借りた図書館まで行かないとダメですか？」

流山市内のどこの図書館でもお返しいただけます。（例えば、木の図書館で借りた本を中央図書館で返すことも出来ます。）各図書館入り口付近には、返却ボックスが設置されていますので、もし図書館が閉まっていたら返却ボックスに入れてください。但し、CD・カセット・DVD・ビデオ・紙芝居は取り扱いが難しいため、必ず直接カウンターにお返しください。

●「駅にも返却ボックスがあります」

流山市内の各駅と、豊四季駅、おおたかの森駅には、返却ボックスが設置されています。木の図書館ホームページから詳細な配置図が確認できます。各図書館入り口付近の返却ボックスと同様にお取り扱いください。また、実際に返却処理するまでに数日掛かる場合がありますのでご注意ください。

●「読み終わらなかったのに、もう一度借りたいのですが・・・」

“返却後、もう一度借りる手続き”をすることが出来ます。（“延長”とは異なる手続きです。）この場合は、該当の資料を図書館にお持ちください。返却の手続きをした後に、改めて2週間の貸出手続きをします。ただし、予約が入っている資料については、ご返却いただかなくてはなりませんので再貸出には応じられません。ご了承ください。

子どもの木



とほせ！

第3回 紙飛行機競技会！

2しゅるいのひこうきをあってみよう！

とおくへとばして、ねうえ！チャンピオン！！

1月17日（土）13時～14時30分

場所：東部公民館

人数：25人（保護者がいれば幼児も可）

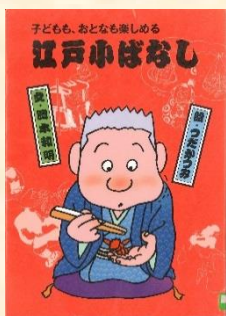
参加費：無料

1月6日（火）10時から

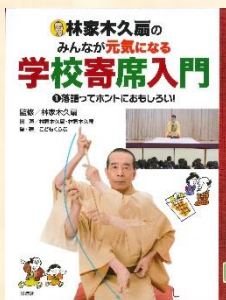
電話・来館にて受付開始！



江戸小ばなし 1
子ども、おとも楽しめる
岡本 和明／文
キレあるはなしにクスリ！



林家木久扇のみんなが元気
になる学校寄席入門 1
落語ってホントにおもしろい！
林家 木久扇／監修
らくこの楽しさにナルホド！



まんじゅうこわい
川端誠／作
まんじゅうがこわい！？



ワハハ！はつわらい！

小さなお友だちは
パパママのおひざ
の上で楽しもう！

こころでちょいと小話……、

木の図書館では毎週日曜日におはなしかいをやっているよ！

時間は 11:00～11:30 の30分。

みんな、2F おはなしコーナーにあそびにきてね！

1月

**11日・18日・
25日**

2月

**01日・08日・
15日・22日**

3月

**01日・08日・
15日・22日・
29日**





これからの木の図書館

連絡先

木の図書館

電話: 04-7145-8000



大人のための おはなし会



日時: 2月17日(火)
10時~11時30分

場所: 東部公民館 参加費: 無料

対象: 大人(中学生以上) 15名

「冬」をテーマに
大人に向けた
絵本の読み聞かせと
手遊びを行います。

2月3日(火) 10時より受付(木の図書館へ電話または来館にて)

郷土へのいざない vol. 7

~『におどりの』古代のタイムカプセル~

「流山市立博物館友の会」は昭和53年の創立から、昨年で35周年を迎えました。今までに、郷土の研究誌の『東葛流山研究』が32冊、機関誌の『におどり』が101冊、発行されています。(2014.11月現在)

さて誌名にもなっている「におどり」という言葉ですが、実は、カイツブリ科の水鳥カイツブリの古名である鳩(にお・にほ)のことを表しています。

鳩は水中の魚や小エビを食し、長時間の潜水が得意で「鳩鳥の潜く池水」(万葉集)や、また雌雄つがいの仲の良さから「鳩鳥の影を並ぶる」(源氏物語・蛭)などと詠まれています。こうした性質から、「にほどりの」は「潜く(かづく)」「なづきふ」「二人並びる」や「かづく」と同音を含む「葛飾(かづしか)」を導く枕詞となりました。枕詞は、古代の作り手たちが最も工夫を凝らした密度の高い表現形態であり、当時の思想や文化が凝縮されたカプセルだといえます。

万葉集3386には「にほ鳥の葛飾早稲(わせ)を贅(にへ)すともそのかなしきを外(と)に立てめやも」という葛飾を詠んだ句があり、西深井にある「におどり公園」の由来もそこからきているそうです。

音読してみれば、その当時の光景がカプセルのごとく溶け出してくる…そんな気分が味わえるのではないのでしょうか。

~参考図書~

- ・「王朝文化辞典 万葉から江戸まで」朝倉書店 2008
- ・「大辞泉第二版 下巻せ〜ん」小学館 2012
- ・「新日本古典文学大系3 万葉集 三」岩波書店 2002
- ・藤村由加著「枕詞千年の謎」新潮社 1992
- ・「におどり 第101号博物館友の会創立35周年記念特集号」流山市立博物館友の会 2014
- ・<http://www.city.nagareyama.chiba.jp/institution/7700/5428/005603.html>



かいつぶり(内田清之助ほか
「復刻版原色動物大図鑑」
(北隆館、2009年刊))

1月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

■ は休館日 ■ は17:00まで開館 ○ はおはなし会 □ はイベント
□ は所蔵点検を行っている館が休館となります。木の図書館は1/28、1/29が休館です。

木の図書館カレンダー

休館日 月曜日(祝日の場合は火曜日)、月末日(土、日、祝日を除く)
12/29~1/4、蔵書点検日(1/28、29)

開館時間

火曜日~土曜日: 9時30分~19時
日曜日・祝日: 9時30分~17時